事業名	分散型エネルギーマスタープラン推進事業
-----	---------------------

総事業費	129 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	資源の循環的利用の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	①事業に興味を持ってもらう ②事業を知ってもらう	
事業の実績と成果	取組内容	本年度も本市への課題の解決策などを企業と協議し、企業が参入しやすい環境づくりに努めた。九電の出力制御の問題については、東大と本市が九電と協議し今後のその問題について協力連携していくこととなった。
	成果	H27年度に策定した本市のマスタープランの内容を見て、本市へ連絡してくる事業者があるものの、起業した場合の採算性など難点を示す企業がほとんどの状況である。これまで、本市では課題点を把握し、その解決策についても検討していることから、本市への整備を検討している企業には課題点の説明ができていたので、企業においても具体的な対応策を立てやすくなっていることがあげられる。出光などは出力制御がネックと捉え九電と協議しており、今後、EV車へのシフトなどは本市と検討していく案件も出てきている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	種子島においては、全国初の出力制御がなされ、参入についても大きな障壁となっており、今後は産官学連携などし水素変換など新たな取り組みを模索する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	太陽光をはじめとする豊富な資源により自給率の向上はみられるものの、電力小売の全面自由化や出力制御などの課題を抱える。専門的知識や費用負担を考慮すると、引き続き、大学や企業との連携のもと継続的な取組を推進していく必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	本市への再エネ事業整備を検討している民間企業が事業展開しやすい環境づくりをこれまで同様進めていく必要がある。これについては、企業誘致的な意味合いもあり、経済観光課などと連携する必要がある。また、EV車の普及事業については、R3年度に協議会設立を行い、関係機関と連携した形で進めていく方が望ましいと考えている。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明